

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年9月8日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	結城市	代表者名	小林 栄
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0296-34-0436
担当者役職	行政経営係長	担当者氏名	湯山 友和
		連絡先E-mail	
住所	307-8501 茨城県結城市中央町二丁目3番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川口 弘行
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	総務省の自治体DX推進計画に対する市としての対応方法、DXへの取り組み方、DXを担う人材像などをわかりやすくお話ししていただいた。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年8月25日	10時00分	14時45分	105	180
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	市の部長級・課長級の職員	39人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	庁内に、デジタル化に関する技術に関心のある職員が少ない。また、それらの技術を活用した業務改善の事例も少ない状況にある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	デジタル化に関する職員の意識啓発。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	「現役自治体CIO補佐官が本音で語る 自治体DX推進計画について」と題して、自治体DX推進計画の内容や自治体のデジタル変革は何のために取り組むのか、進め方と併せて、講演していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	講演により、受講した市の部長級・課長級の職員に対し、デジタル変革に取り組む意義、進めるにあたって注意すべき事項などを提供できた。今後の本市のDX推進の気運醸成につながったと思われる。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 講演のため具体的な成果物はありません。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	講演のため、特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 受講者アンケートの結果、約8割の受講者が、研修の内容について、「大変参考になった」「参考になった」と回答した。今後の本市のDX推進の機運醸成につながったと思われる。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

